

報道関係各位

件 名 地方史研究協議会 第76回(飯能)大会の開催について

1 概要

地方史研究協議会は、全国に1,400人余りの会員をもつ、歴史学の関係では全国最大規模の研究団体です。1年に1度、全国各地から1ヶ所を選び大会(講演会・報告会)を行っていますが、今年開催の第76回大会は、令和8年10月17日(土)から10月19日(月)にかけて本市で行います。

2 内容

地方史研究協議会 第76回(飯能)大会

主催 地方史研究協議会第76回(飯能)大会実行委員会

飯能市・飯能市教育委員会

日時 令和8(2026)年10月17日(土)～10月19日(月)

会場 飯能市市民会館大ホール

参加者

地方史研究協議会会員、埼玉県地方史に関心の深い方など約250～300名を予定

大会テーマ

「山の根」の地域史―西武蔵の山・町・里―

大会日程

10月17日(土)

《自由論題報告》10時10分から

①「埼玉県飯能市加能里遺跡の研究」 宮内慶介(埼玉)

②「寛永期における荒川流域の基盤形成」 出野雄也(埼玉)

《公開講演会》13時30分から

①「武州「山の根」の土地利用と文化交流」

加藤衛弘(筑波大学名誉教授)

②「武蔵における地誌編纂 ―近世から近代へ―」

重田正夫(埼玉県地方史研究会会長)

《説経節公演》16 時 10 分から

三代目若松若太夫 16 時 10 分から 16 時 40 分まで

10 月 18 日(日)9 時 50 分から

《共通論題報告》

①「飯能周辺の山地・丘陵・台地」 小田部家秀(埼玉)

②「発掘調査からみた古代高麗郡」 大熊雅弘(埼玉)

③「中世丘陵の武士団」 北爪寛之(東京)

④「近世後期西川林業地帯の流通組織の展開過程」

丸山美季(東京)

(昼休み)

⑤「武州世直し一揆に見る山と町」 金澤花陽乃(東京)

⑥「高山不動の信仰圏と交流について」 村上達哉(埼玉)

⑦「西武蔵における鉄道網の発達と沿線遊覧地」

平田光洋(埼玉)

⑧「西武蔵における土地の軍事利用とその後の展開」

梅津あづさ(埼玉)

《討論》16 時 30 分から 18 時 00 分まで

議長：小野一之(埼玉)・工藤宏(埼玉)・宮坂新(千葉)

10 月 19 日(月)

《巡見》

①飯能まち歩きコース

午前 9 時集合(智観寺) 定員 30 名・参加費 3,000 円

智観寺(中山家墓所・収蔵庫)→能仁寺(中山勘解由三代の墓、
黒田家当主墓所、能仁寺庭園)→諏訪八幡神社・丹生神社→
酒屋八左衛門故地→店蔵絹甚→銀河堂(前庭)→中清米店袖蔵
→旧飯能織物協同組合事務所棟
→飯能駅北口(午後 3 時 30 分到着予定)

②高山不動・鎌倉街道上道コース

午前 8 時 30 分集合(飯能駅) 定員 25 名・参加費 6,000 円

飯能駅南口→(マイクロバス)→高山不動→渋沢平九郎自刃之
地→国指定史跡「鎌倉街道上道」→毛呂山町歴史民俗資料館
→飯能駅南口(午後 4 時到着予定)

参加費(10月17日・18日 2日間共通)

【事前振込】会員：1,000円 一般：1,500円

【当日支払】会員：1,500円 一般：2,000円

※公開講演会のみ参加費無料

担当

博物館長 村上 達哉

電話 042-972-1414